

## 雇用調整助成金制度を活用した 日本復興の為の秋吉経営塾主催訓練『未来塾』

東日本大震災で被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

この度の東日本大震災は被災地のみならず日本経済にも大きな損害と打撃を受け戦後65年間で最も危機的状況と言われています。日本は幾度となく復興してきており、今こそ日本人全員が“負けるな 日本”と強い気持ちと精神で力を合わせ、日本復興を果たせねばなりません。

### POINT 1

大震災で大きな打撃を受け危機的状況であるからこそ雇用調整助成金制度を活用した  
“必ず復興させる”との『強い気持』と『希望』を生む訓練が必要

- 雇用調整助成金制度は単に休業補填をする為のものだけではありません。社員と企業が強くなり成長する為のものです。気持ちを一つにしない限り復興はできません。単に助成金を受け取る手段では復興はできません。
- 不安ばかりの現状であるからこそ、社員一人一人が復興の為に何をすべきか又未来を切り開く為に何をすべき等を真剣に考え、強い気持と精神で、全社員が一つになり力と知恵を結集する訓練が必要ではないでしょうか？

### POINT 2

雇用調整助成金活用の訓練として、  
1,000人を超える受講者に感動を与えてきた実績のある訓練

- 50-100人単位の訓練を4日間以上実施しても、単に聞くだけの訓練ではなく、社員全員が真剣に考え熱く語り合う訓練の為に、誰もが1日があっという間に過ぎるように感じ、やりがいと熱い思いと『感動』が残り次の日からの行動を生む訓練として好評

### POINT 3

社員一人一人が真剣に考える参画型の訓練の為に  
『元気』『希望』を生み『一体感』『連帯感』を築ける訓練として好評

- イヤイヤ受けさせられる訓練でなく、“大震災後、社員全員が困難に打ち勝つ為に何をすべきか？”等のチームディスカッションを通して復興に向け社員同士で熱い気持を持ち相互に認め合い信頼し、連帯感・一体感を生み自らの主体的行動を開始する為の訓練

### POINT 4

心の改革的訓練から実際に収益を上げる訓練まで幅広いカリキュラムで構成されている為  
社員の意識変化だけでなく実際に生産性も収益も上がったと好評

- どの企業も高収益企業にしてきた社長経営者が儲ける企業になる為の秘訣を伝授
- 4日間訓練でも大型設備投資をしたように会社として大きな財産を築いたと感謝される

### 復興の為に秋吉経営塾主催の訓練『未来塾』とは

リーマンショック後の大不況時にも雇用調整助成金を活用した訓練「秋吉塾」等を開催し1,000人以上の受講者に多くのやる気と希望を与えてきた社長経験者が、日本人が忘れていた日本を復興させ、元気にする為の大事な事及び未来を切り開き夢実現の為に大事な事等を以下のように稲盛和夫・松下幸之助・ドラッガー等の言葉及び自らの経験をおり交ぜながら熱く語り、参加者全員で真剣に考える訓練です。丸1日の訓練があっという間に過ぎ、熱い気持ちとその日から行動を生む『感動』と『連帯感』そして『元気』と『希望』が出る訓練です

- ◆ 『ニッポンは焼け野原から復興した。野人のように“生き抜くんだ”と自らの魂に火をつけろ』  
(稲盛和夫京セラ名誉会長 週刊朝日平成23年4月1日号)
- ◆ 『何としてもこの困難を突破するのだと強い執念と勇気が、思いがけない大きな力を生み出す。』  
(松下幸之助 不況克服の10カ条より抜粋)
- ◆ 『人生は山あり谷あり。悪い事のあと必ず良い事がある。それが人生だ。強く見えても人間は弱い。だから支えが必要だ』(日本電産永守重信社長 平成23年4月16日日本経済新聞)
- ◆ 『明日は今日とは違う。認識の変化が機会を、チャンスを生む』(ドラッガー-Management for Result他)

# 雇用調整助成金制度を活用した 日本復興の為の秋吉経営塾主催訓練『未来塾』

秋吉経営塾  
Akiyoshi Management School

## 基本的な訓練スタイル

- ▶ 参加人数は50人から100名が基本。6-8人組の混成チーム（他職場混成・管理職・一般社員の混成チーム。相互を理解し連帯感を生む為に）を形成。
- ▶ 1日コースを4日間が基本（企業の要望に基づき回数等調整可能）。
- ▶ 単なる講義を聴くだけの訓練ではなく与えられた設問に対して各自が考え、チームメンバーと意見を交換し具体的な対策をたてる等真剣に考え直ぐにでも日常な業務に活かすことができる訓練である。チーム対抗ゲーム（情報伝達ゲーム）等の体を動かし体験するビジネスゲームもある

## 主な内容・テーマ（一例）

- ◆ 東日本大震災から復興する為に大事な事とは？全社員が共有すべき復興の為の3カ条とは？
- ◆ 『気づき』と『キッカケ』が人間を成長させ企業を成長させる。
- ◆ 日本復興の為の松下幸之助講座。幸之助から学び自分自身の人生の為に大事にしたい口ぐせとは？
- ◆ 生きがいとは？プロとは？良きリーダー・良き上司とは？
- ◆ ビジネスもスポーツ同様強さを活かし弱点を補強すれば企業は儲かる。我社の強みとは弱みとは？
- ◆ トヨタのようにムダ・ムラの徹底排除すればどの企業も高収益企業になれる。 等



## 講師プロフィール 株式会社秋吉経営塾 代表取締役 秋吉正一

早稲田大学理工学部卒業後、ゼネラル石油でEXXONの技術者として活躍。ヘッドハンティングを受けビジネスの世界に。エンゲルハード（現BASF）石油触媒日本支社ゼネラルマネジャー、セイケムアジア株式会社の代表取締役社長及び自動車部品中堅会社の専務取締役を歴任。いずれの企業も大幅に収益を向上させただけでなく、意識改革・企業改革を成功させる。株式会社秋吉経営塾を設立し代表取締役社長に就任。企業に入り込んだ熱血指導以外に、幹部向け「ビジネススクール」「やる気塾」合宿及び社員自らが主体的に考え行動する訓練「秋吉塾」を開催。既に受講者はこの1年間で1,000名を超える。

## リーマンショック後の雇用調整助成金訓練『秋吉塾』受講者の感想（何百という感想の中から一部抜粋） 『秋吉塾』4日間を終えての素直な感想は？「秋吉塾」を通して学んだ事は？最も印象深い感動したことは？

- ◆ 自分自身を変える為の大切な講義でした。1日が過ぎるのが早く感じられたと思います。
- ◆ 不況で給料がダウンする中で、秋吉塾受講を終えて社員皆の顔が状況に反して明るくなっている。本当なら右往左往するような時なのに、各個人がその進むべき方向や、やるべき事をつかめたと思う。
- ◆ 秋吉先生から多くを学んだが、中でも“やる気”が重要である。素直になることで気づきを生み、自己成長のきっかけとなり、やる気につながる“等今回の研修で、高めて確認できた気持ちをこれからも忘れることなく、今後の仕事、人生に活かしていきたいと思う。
- ◆ 今まで眠っていたものを起こすことができた4日間であったと思います。今回の教えを基に、職場や会社を改善したいと思っています。やる気・情熱を持って取り組みれば必ず結果が付いていく。
- ◆ 考えることは比べることから始まる。「秋吉塾」によって、見慣れた職場、慣れた社風、自分の考えと松下幸之助らの経営哲学や他職場の意見と比べる事により「考える」事が始まった。このキッカケ“をこの不況といったタイミングで得られたことは今後の会社、そして各個人にとっても大きな財産になると思う。
- ◆ 物の見方・考え方が変わってきて、人生の中でも色々勉強になって少しは成長できたと思う。“気づき”が人生を変える“キッカケ”になる事を学んだ。「多くの“気づき”でやる気を高め、自己成長の“キッカケ”に！！」が最も感動した。
- ◆ 先ずは気持ちが前向きになった。秋吉塾の講習を受けて、これまでの気持ちの面での不安というものが取り除かれた。ありがとうございました。前向きな気持ちで仕事をしていける気がします。
- ◆ 自分自身成長した。この不況がなければ、「秋吉塾」もなかったと思うし、自分自身の成長もなかったと思う。演習・講習と全員参加が多く、一人一人の意見が言え、聞けて良かった。松下幸之助の本に会えて良かった
- ◆ “やる気”を語る事が日々の業務の中では、特に熱く語ることがほとんどない中で、「やはり会社は人である」の考えのもと、全員参加の秋吉塾で大いに語り考える事が出来たことがとても貴重な体験でした。
- ◆ 今までただ動いていればいいと思っていた自分にとっていいキッカケになった。「人のやる気をなくさせるのは簡単」今まで自分はこのような行動をしていた。これからは逆にやる気を皆に移せるくらいにしたい。
- ◆ 資料等、小説本などを読み返すことはほとんどないと言ってもいい位だったが、今回の訓練資料は2・3回読み返したので自分でもびっくりした。
- ◆ わずか4日間で大きな設備投資をしたくらい会社にとって大きな財産を築いたのでないかと思う。大変感謝しています。

お申込み及び問い合わせは [info@akiyoshi-keieijuku.co.jp](mailto:info@akiyoshi-keieijuku.co.jp) 又は株式会社秋吉経営塾ホームページ; <http://www.akiyoshi-keieijuku.co.jp> より願います。